

# 片岡製作所

## 超精密かつ

## 高精度加工を中心に

## 微細加工分野でシェア拡大!

レーザ新報  
2023年2月号

(株)片岡製作所(本社)東京都南区久世築山町1-4

0、本社営業本部 ☎075-933-1175

1986年以来35年以上にわたってレーザ加工装置の製造販売を手掛けてきた。

中でもレーザ微細加工装置の研究開発に注力して取り組んでおり、レーザ発振器及び光学系を自社開発し

装置化している。同社では、発振器から光学系、制御系、加工装置まで自社で構築しており、国内トップクラスのレーザ加工装置メーカーとしてシェアを拡大する戦略で業績を伸ばしてきた。

同社は、ユーザーのニーズに応じて、最先端アプリケーションに対応したレーザ加工装置を開発しており、超精密穴あけ装置においては直径10mm以下の丸穴や角R5mmの四角穴を狭ピッチで連続加工が可能であり、±1mmの加工位置決め精度による高精度で安定した穴あけ加工を提供している。

この微細穴あけ加工技術を支えるのは自社開発した



光学システム「ビームローテータ」である。

この「ビームローテータ」は、任意の直径、照射角で高速回転するビームを生成

し、超精密かつ真円度の高い穴あけを行うことができ

る。また、回転するビームを走査することで四角穴や任意

レーザーライン製の青色半導体レーザー「LDM blue1000-40」搭載のブルーレーザー溶接機「KBLシリーズ」

意形状の穴加工、スリットや外形切り出しも可能となっている。さらに、近年注目を集めているのが青色レーザー溶接装置で、従来困難であった銅溶接を可能にした青色レ

ーザとIRレーザーを重畳した青色ハイブリッドレーザーによってスパッタフリーの溶接を実現した。また、青色ハイブリッド

用ガルバノスキャナーを自社開発し、従来の加工ノズルでの加工に対して溶接時間の短縮が可能となり、銅の接合市場において適用アプリケーションを拡大している。

同社によれば、「レーザー微細加工は、今後さらに拡大することが確実視される電気自動車に関連する二次電池業界、モーター業界、電子部品業界等から強いニーズがあり、微細加工分野で世界トップシェアを目指す」としている。

資料請求番号「1-2」

◇ ◇ ◇